



名古屋銀行

インフォメーションブック

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日



名古屋銀行イメージキャラクター
「うさぎ支店長」

「みなさまに名古屋銀行のことを、もっと知っていただくために作りました。」

絆をつくる、明日へつなぐ。

| 社 是 |

地域社会の繁栄に奉仕する

これが銀行の発展と行員の幸福を

併せもたらすものである

| 行 訓 |

1.よいサービス

誠意があふれ 行き届いた

スピーディなサービス

2.よい人

人を高め 人を厚くし

明るい職場をつくる

3.よい経営

健全で 創意に富んだ 全員参加の経営



CONTENTS

社是・行訓	1
ごあいさつ	2
頭取インタビュー	3
平成27年度 名古屋銀行のあゆみ	5
個人のお客さまとともに	7
法人のお客さまとともに	9
支店ネットワーク/ATMネットワーク	11
社会貢献活動	12
業績ハイライト	13
財務諸表	15
株式情報	17
当行概要・各種お問い合わせ	18

ごあいさつ

日頃より、名古屋銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまに、当行の活動内容に対するご理解を一層深めていただくため、「インフォメーションブック」(平成27年4月1日～平成28年3月31日)を作成いたしましたので、是非ともご高覧いただきますようお願い申し上げます。

現在当行は、平成26年4月よりスタートした第19次経営計画「変わる！変える！生まれ変わる！～満足のあふれる銀行へ～」に取り組んでおり、「誰よりも親切にお客さまに接し、誰よりも真剣にお客さまのことを考え、誰からも喜ばれる銀行へ」を全役職員の共有ビジョンとして、お客さまのニーズにお応えしてまいります。

地域金融機関としての使命を果たし、地域の皆さまから信頼をしていただけるよう、そして存在感を高められるよう、社是である「地域社会の繁栄に奉仕する」を実践してまいりますので、今後とも一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月



取締役会長

加藤 千磨

取締役頭取

中村 昌弘

より多くのお客さまと、より深い絆を築き、 「地域社会の繁栄に奉仕」してまいります。

Q ▶ 平成27年度を振り返って

当行は、地域の皆さまにご満足いただける「金融サービス」のご提供に努めており、昨年度も様々な取組みを行ってまいりました。

まず、新ICキャッシュカード発行サービスの取扱いを昨年12月より開始いたしました。34種類のデザインから選び即時発行するサービスは、全国の金融機関でも初の取組みであり、またオリジナルICキャッシュカードも、「自分だけ」の貴重なカードになる事から双方とも大変好評で、サービス開始から3月までの4カ月間に約40,000枚を発行し、導入の主旨である新規口座開設に大きく寄与しております。

次に、お客さまの相続に関するご相談・事務手続きに特化した

「相続相談プラザ」を昨年7月に開設いたしました。高齢化社会の急速な進展を背景に、相続に対するお客さまのニーズの高まり・多様化が進んでおり、「相続相談プラザ」では、それら

にお応えし、質の高いサービスのご提供に努めてまいります。また、お客さまのライフステージに寄り添った情報発信を行い、名古屋銀行のブランド価値を高める営業を行っていくことを目的にした、「名古屋銀行ハートフルプラザ」を名古屋駅に直結した大名古屋ビルヂング16階に今年3月に開設いたしました。より多くの方々にご利用いただくために、営業日・営業時間にも工夫し、セミナーやイベントの開催や、資産形成・住宅ローンなどのご相談を承ってまいります。

次に、成長分野である農林漁業を支援する取組みとして、『第1回あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会』を今年3月に地元7信金などとともに開催いたしました。当日は、出展企業126社、バイヤー73社による個別商談が443件行われるなど、大変盛況でした。これは生産者や加工業者、そして販売業者の皆さまに対して、販路の拡大や市場の創造を支援させていただき、農林漁業をさらに発展させていく取組みです。この取組みがお客さまとの取引の深化につながることを期待しております。

次に、地方創生についての取組みとして、政府が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、当行は各自治体や商工会議所と連携し、積極的に取組んでおり、今年3月までに7市13団体と連携協定を締結しております。今後も地方創生・地域活性化を目



取締役頭取
中村昌弘

指して地域金融機関としての役割りを積極的に果たしてまいります。

Q 第19次経営計画の進捗

第19次経営計画の2年目にあたる平成27年度におきましても、BPR(業務プロセス再構築)を通じた全員営業体制の構築を図り、全役職員一丸となって経営計画に取り組んでおります。

業務効率化施策として営業店業務の見直しを行い、伝票の本部集中保管や融資業務を本部で取組むことなどを進め、また、組織再設計としては本部組織再編を行い、営業店サポートが最大限発揮出来る組織とした一方、リスク管理とガバナンスの強化が図られる組織にいたしました。そして、人員再配置では渉外人員700人体制に向けて、個人向け渉外担当者の各店配置などを行いました。これらの施策により、お客さまとの接点を増加させ、お客さまにご満足いただける体制作りが着実に進んでおります。

経営計画の大きなポイントは、「お客さまとの取引密度を深めること」と「お客さまの数を増やすこと」の2つですが、前者の進捗として、お振込や預り資産販売などの手数料収入が每期増加しており、後者の進捗としては、新規作成口座数や預金・貸出金がそれぞれ増加していることなどから、経営計画が順調に推移していると考えております。

Q 平成28年度取り組み

私たち地域金融機関は、企業が発展し地域が活性化するために、何が出来るかを考え取組むことが責務です。そのため、お客さまのところへの訪問頻度を高めて、企業内容を理解する中から資金ニーズを察知・提案したり、ビジネスマッチングや補助金申請支援、お客さまにとって有効な情報提供など、これまで以上にコンサルティング機能を発揮してまいります。また、事業性評価に基づき、お客さまが経済環境の変化に対して、今後どのようにし

て成長されていくかを考え、助言させていただくことも、積極的に行ってまいります。



女性が生き生きと働くことが出来る組織とするために「ポジティブ・アクション宣言:花咲く名銀プロジェクト」を発表いたしました。取組目標は、平成32年3月末までに、「渉外担当者に占める女性比率を20%以上にすること」、「女性行員に占める役席者(係長以上)比率を30%確保すること」、「パートタイマー・嘱託・派遣社員からの行員転換を積極的に推進していくこと」ですが、“女性活躍推進プロジェクトチーム:チームひまわり”が中心となり、目標達成に向けて女性視点を活かし、商品企画や提案、また働きやすい制度の拡充に取り組んでまいります。この取組みも「全員営業体制」の強化の一環と考えております。

当行にとって「人」は大切な資産であり、ブランドそのものです。お客さまからのご評価を高め、持続的な成長に繋がられるのも人材如何と考えております。人材と言う「資産」を成長させ、輝かせていけるよう、最大限の力を注いでまいります。

Q 「地域社会の繁栄に奉仕する」銀行として

当行は社是である「地域社会の繁栄に奉仕する」理念のもと、地域との共生を成し、地域の皆さまから真に必要とされ信頼される仕事を行ってまいります。そのような仕事を行員一人ひとりが



実践し、「さすが名古屋銀行」と地域の皆さまからご評価していただけるよう、企業理念の具現化に努めてまいります。

平成27年度 名古屋銀行のあゆみ ～様々なお客さまの利便性向上に取り組み

- 日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センターとの連携強化

- 地方創生プロジェクトチームの編成

- ◆ ポジティブ・アクション宣言「花咲く名銀プロジェクト」策定



ポジティブ・アクション宣言



最新型ATM



ピンクリボン活動

- 現金自動預け払い機(ATM)の一斉更改開始



- ◆ 「Wi-Fiサービス」提供開始

- ◆ 行員の「介助専門士」資格の取得

平成27年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

- 個人向け
- 法人向け
- ◆ その他福利厚生など



ATMの利便性向上



海外資金調達支援



海外進出支援



大規模災害への備え

- 「銀行手続の窓口」サービス開始

- 米国向けクロスボーダー貸付の取扱い



- 相続相談プラザの開設

- インドネシアセミナーの開催



- ◆ 愛知県内地銀3行による「大規模災害等発生時における相互協力に関する協定書」の締結



- ◆ 名古屋市と愛知県内地銀3行による「大規模災害発生時等における防災協力に関する協定書」の締結



- ◆ 「あいち女性輝きカンパニー」認証



「あいち女性輝きカンパニー」ロゴ

ました～



■「外貨積立(プラスアルファ)」
取扱い開始

●「名銀経営者向けフリーローン
『ジャストタイム』」取扱い開始

◆ピンクリボン活動 街頭での呼
びかけ実施

◆2016年3月期中間配当増配の
お知らせ



名古屋銀行ハートフルプラザ

■現金自動預け払い機(ATM)
の無料提携の取扱日・取扱時
間を拡大



■名古屋銀行本支店間振込の
24時間対応の開始

■名古屋銀行ハートフルプラザのオープン

■木場支店の新築移転オープン

●「医療経営セミナー2016 in 名古屋」開催

●『第1回あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と
「農」の大商談会』の開催

●国際協力銀行との協調融資の取扱い



●香港向けクロスボーダー貸付の取扱い

◆女性活躍推進法に基づく行動計画を策定



●「名古屋銀行 次世代自動
車製造技術革新セミナー」
開催



セミナーの様子

●第12回 三行ビジネス商談
会開催

■ICキャッシュカードの店頭即時発行サービスの開始、「デザインIC
キャッシュカード」「オリジナルICキャッシュカード」の取扱い開始

●メトロポリタン銀行との業務連携に基づくスタンドバイL/Cの発行



●インドネシア向けクロスボーダー貸付の取扱い



●ベトナム向けクロスボーダー貸付の取扱い



●株式会社プロネクサスと業務提携



◆次世代認定マーク(愛称:くるみん)の取得



デザインICキャッシュカード

■ 個人のお客さまとともに

お客さまのライフスタイルに合わせてご要望にお応えしてまいります。

口座を開設したい!

将来への備えはどうしよう...

そろそろマイホームを
考えたい...

なかなか銀行に行く
時間ができないな...

お客さまの利便性を重視し、
多様なチャネルを
ご用意しております。

いつでもどこでも
好きな時に利用したい



ローンプラザ

個人向けインターネットバンキング
bankstage

身近なところで
気軽に相談したい

ご自宅や会社に
最寄りの店舗

マイホームのことを
ゆっくり相談したい



ICキャッシュ
カードサービス

49種類の豊富なデザインからお
選びいただき、その場で発行するこ
とができます。
また、お客さまの撮影した写真を使っ
た世界に1枚だけのカードも作成が
可能です。

お客さまのライフステージ
に寄り添った情報発信を
行っております。

相続のことを
何でも相談したい



相続相談プラザ





個人向け
インターネット
バンキング
bankstage

「bankstage」は、使いやすい画面設計とシンプルな導線で、サービス開始以来、大変ご好評をいただいています。来店不要・印鑑不要でインターネット支店に口座開設することが出来るので、大変便利です。また、「bankstage」限定のキャンペーンを実施しております。



住宅ローン

マイホーム購入やリフォーム、借替などニーズに合わせた商品をご用意しております。週末にゆったりとご相談いただけるローンプラザや休日相談会「名銀サンデー」(奇数月原則第2日曜日)もご利用ください。



資産運用

投資信託や個人年金保険、外貨預金などお客さまのニーズに沿ってご提案しております。また、ジュニアNISAや学資保険など、お子さまやお孫さまの成長をお手伝いいたします。



**相続相談
プラザ**

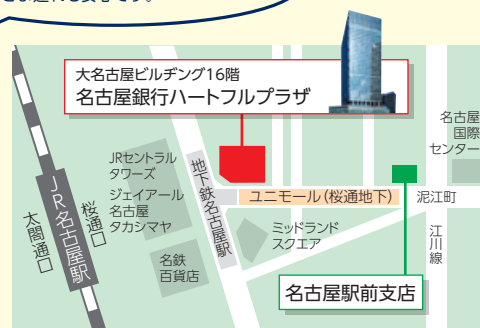
事前予約制で専属のスタッフがお待ちしております。また、専門的なご相談は、提携機関をご紹介します。



名古屋銀行ハートフルプラザへ お気軽にお立ち寄りください！



2016年3月に、中部圏の玄関口である名古屋駅に近接した大名古屋ビルヂング16階に、「名古屋銀行ハートフルプラザ」がオープンしました。各種ご相談のほか、セミナーの開催や個人向けインターネットバンキング「bankstage」に実際に触れて体験していただくことができます。平日は19時まで、土曜日営業しており、気軽にお立ち寄りいただけます。



平日(火曜日～金曜日): 10時45分から19時まで
土曜日: 9時45分から18時まで(日・月・祝は休み)
電話番号: 052-562-0758

法人のお客さまとともに



▲左より 水野尾張旭市長、中村顕取

地域とともに

自治体や商工会議所等と連携し、
地域活性化・地方創生に取り組んでおります。

(公財) あいち産業振興機構、名古屋商工会議所、岡崎市・岡崎商工会議所、
春日井商工会議所、一宮市、愛知県商工会連合会、小牧商工会議所、
碧南市・碧南商工会議所、稲沢商工会議所、江南商工会議所、
犬山市・犬山商工会議所、小牧市、東海商工会議所、尾張旭市、
安城商工会議所、津島商工会議所、半田市
(順不同 平成28年3月末時点)

海外進出支援

中国・アジアへの海外進出支援を行っております。

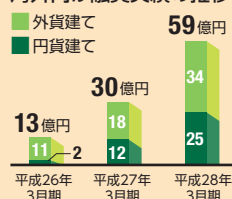
進出事務支援

株式会社プロネクサスと業務提携し、海外進出する際の現地対応と、
総務・人事・経理など実務支援を行っております。

資金調達支援

お客さまのニーズに合わせ、親子ローンや、現地金融機関からの資金
調達を円滑にするスタンバイL/Cの発行、海外法人に直接貸付となる
クロスボーダー貸付など、多彩な資金調達支援を行っております。
またJBIC (国際協力銀行) との協調融資にも取り組んでおります。

海外向け融資実績の推移



事業性

お取引先企業が社会、経済
継続され、今後どのように成
まともに考え、企業のラ
提案、ご助言を行ってまい

名古屋銀行の海外拠点		国名
南通支店		中国
上海駐在員事務所		中国
海外提携金融機関		国名
バンコック銀行		タイ
カシコン銀行		タイ
バンク・ネガラ・インドネシア		インドネシア
メトロポリタン銀行		フィリピン
ベトナム銀行		ベトナム
中国銀行		中国
中国交通銀行		中国
インドステイト銀行		インド
紹介可能な主な提携機関		国名
JETRO (日本貿易振興機構)		○
NEXI (日本貿易保険)		
JBIC (国際協力銀行)		

NEW

コンサルティング業務

お客さまの「困った」にお応えしてまいります。

法人営業部
法人コンサルティング
グループ
山田 剛義



お客さまの成長のための資金調達をお手伝い

●めいぎん企業力強化応援団

これから事業を始める方、開業して間もない方を応援いたします。

●名銀経営者向けフリーローン「ジャストタイム」

事業性資金にご利用いただけます。地元経営者の積極的な事業展開を応援いたします。

●私募債発行

多様化する資金調達ニーズにお応えいたします。

お客さまのライフステージに合わせて、
最適なお提案をさせていただきます。

生評価

の構造変化の中で事業を継
長されていくかを、お客さ
ライフステージに合わせたご
ります。



成長産業として、
「食」と「農」への支援を強化

●めいぎん成長分野応援団

今後成長が期待される産業の資金調達を応援いたします。

●あいち・じもと農林漁業成長応援ファンド

農林漁業の生産から加工、販売までの6次産業化を支援しております。『第1回 あいち・じもと
農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会』を平成28年3月24日に開催いたしました。

出展企業数

126社



▲「食」と「農」の大商談会

商談件数

443件

個別商談参加バイヤー数

73社



▲三行ビジネス商談会



ビジネスマッチングでお客さまの
販路拡大や仕入先の多様化に寄与

平成27年11月12日に開催した「第12回三行（十六・名古屋・百五銀行）ビジ
ネス商談会」は「買いたい」ニーズに対して「売りたい」ニーズを募集したこと
で商談の有効性をこれまで以上に高めることができました。

参加企業数

409社

商談数

730件



事業承継・M&Aの観点から将来に向けた経営をご一緒に検討

後継者への事業承継について、お客さまのご
意向や環境に合わせたご提案をしております。
また、新たな事業基盤拡大、後継者不在に
伴う事業継続課題の解決策のひとつとして、
M&A業務に取り組んでおります。

事業承継相談件数
(平成27年度)

236件

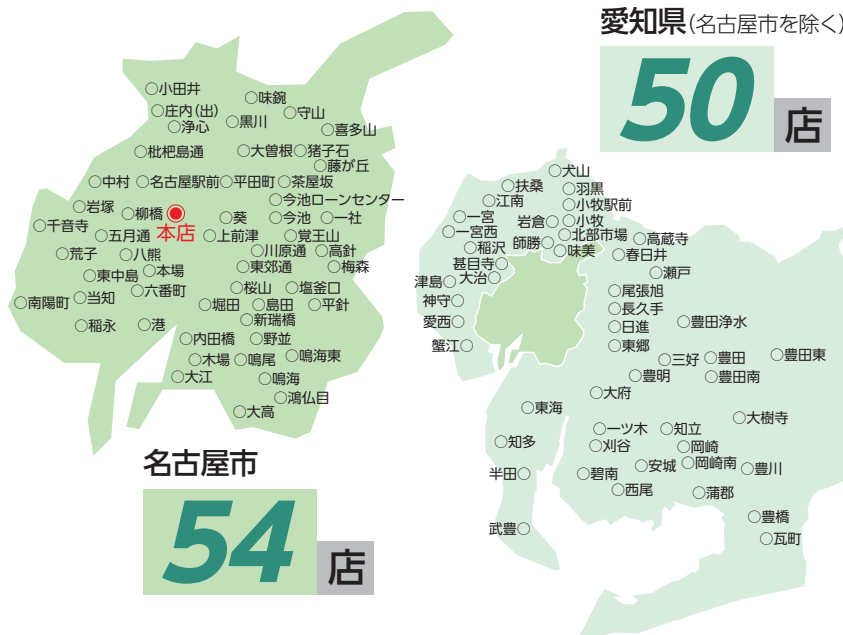
M&A相談件数
(平成27年度)

318件

詳しくは当行ホームページへ！ ▶ <http://www.meigin.com/>

地域に根ざした充実の支店ネットワーク

店舗内訳		
名古屋市		54 店
愛知県	名古屋市を除く	50 店
愛知県外	岐阜支店、多治見支店、 浜松支店、静岡支店、 大阪支店、東京支店	6 店
海外	南通支店	1 店(中国)
海外駐在員事務所	上海駐在員事務所	1 カ所(中国)



全国約69,000台のATMネットワーク

名古屋銀行のキャッシュカードは、
コンビニATMおよびゆうちょ銀行ATMで
ほぼ**24時間**ご利用いただけます！

名古屋銀行ATM **411**台

相互開放ATM(※1) 約**22,000**台

提携コンビニATM(※2) 約**47,000**台

(※1)三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、十六銀行、百五銀行、愛知銀行、
中京銀行、イオン銀行のATM

(※2)セブン銀行のATM、イーネットATMおよびローソンATM



最新型ATMを導入しました



平成27年にすべてのATMを最新型にリニューアルいたしました。

高齢のお客さま、障がいをお持ちのお客さまへの配慮や、現金・通帳などのとり忘れへの注意喚起を強化しており、お客さまの利便性を高めています。

名古屋銀行のキャッシュカードなら、平日午前8時45分から午後6時まで、相互開放ATM、提携コンビニATM(ローソンATMを除く)など、約57,000台で現金のお引出しが手数料無料でご利用いただけます(平成28年3月31日現在)

社会貢献活動

名古屋銀行チャリティーコンサート

チケットの売上金は、日本赤十字社、社会福祉法人中部善意銀行および日本対がん協会「ほほえみ基金」に全額寄託し、地域福祉の向上に役立てていただいております。



東山動植物園再生プランの支援

「東山動植物園再生プランに関する連携と協力の協定」を締結しており、「東山動植物園 応援定期預金」の実績に応じて、動物たちのえさ代等を協力金として提供しております。



ピンクリボン活動

平成27年度は、ピンクリボン月間である10月に名古屋市中区栄周辺で乳がんに関するパンフレットを配布し街頭での呼びかけを実施いたしました。



マラソンフェスティバルでのボランティア活動

平成24年3月から毎回「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」に行員がボランティア参加(これまでの累計402名)し、地域の方々とコース整備など、競技会運営のお手伝いをさせていただいております。



名古屋銀行キッズサッカー教室

平成27年9月、小学生120名を対象に、名古屋グランパススクールコーチの指導による、7回目の「名古屋銀行キッズサッカー教室」を開催いたしました。



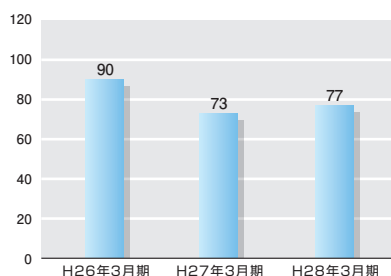
業績ハイライト

■ 損益の状況〈単体〉

銀行本来業務から得られる収益である業務純益は、貸出金利回りの低下があったものの、役務取引等利益の増加や営業経費の圧縮などにより、前年比4億円増加し77億円となりました。経常利益は与信関連費用の戻入益が減少し、前年並みの101億円となりました。当期純利益は前年比4億円増加し、66億円となりました。

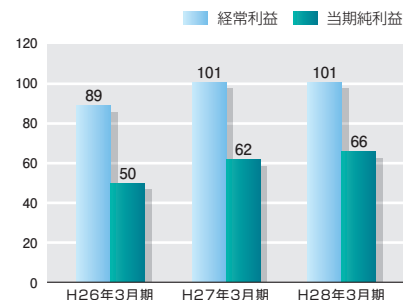
業務純益

(単位：億円)



経常利益・当期純利益

(単位：億円)



■ 預金（譲渡性預金含む）・貸出金の状況〈単体〉

預金（譲渡性預金含む）は3兆2,064億円。内訳として、愛知県内預金は3兆1,086億円となっております。

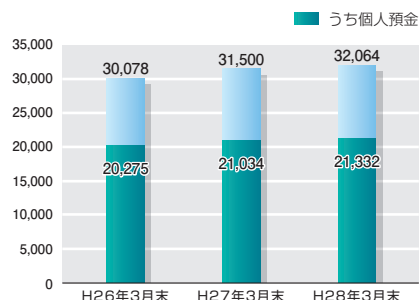
貸出金は2兆2,409億円。内訳として、愛知県内貸出金は1兆9,727億円となっております。地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とした個人向け融資等、各種資金ニーズに積極的に対応し、貸出業務を推進しております。

愛知県内預金の預金全体に占める割合
96.9%

愛知県内貸出金の貸出金全体に占める割合
88.0%

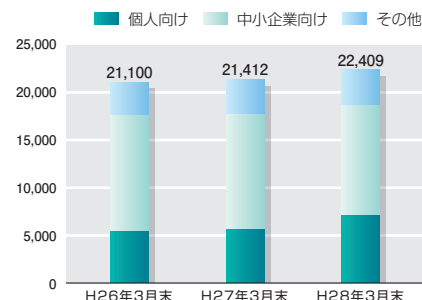
預金（譲渡性預金含む）

(単位：億円)



貸出金

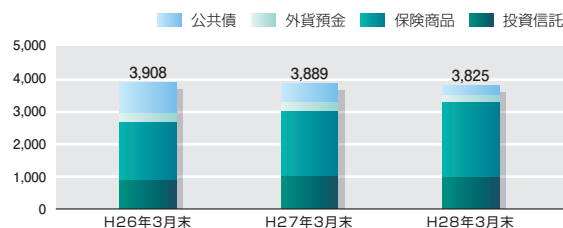
(単位：億円)



■ 預り資産の状況〈単体〉

投資信託や保険商品等の預り資産は3,825億円となっております。お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えするため、PC（パーソナル・コンシェルジュ）、FA（ファイナンシャルアドバイザー）の充実や相談ブースの設置を図っております。

(単位：億円)



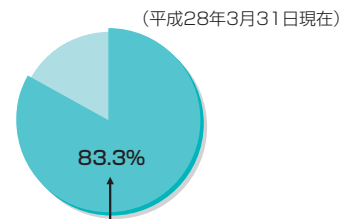
■ 中小企業等のお客さまへの貸出金状況

名古屋銀行は、中小企業等のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしております。

中小企業等貸出比率は83.3%となっております。

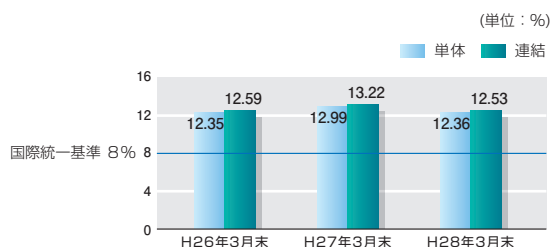
なお、当指標は海外店及び特別国際金融取引勘定分を除いた国内店分を表示しております。

貸出金残高（国内店分） 2兆2,392億円
うち中小企業等貸出残高 1兆8,642億円
中小企業等貸出比率 83.3%



■ 総自己資本比率の状況

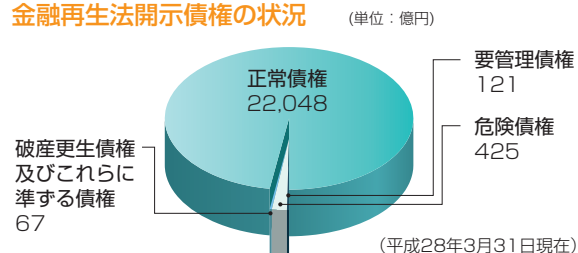
自己資本比率は、銀行の健全性を判断する重要な指標のひとつで、比率が高いほど健全といえます。当行のように国際業務を営む銀行は8%以上を維持することが義務付けられております。平成28年3月末の単体総自己資本比率は12.36%となっております。また連結総自己資本比率は12.53%となっております。



■ 不良債権の状況

金融再生法に基づく不良債権は613億円、不良債権比率は2.71%となっております。なお、不良債権に対する保全率は84.53%であり、将来のリスクに備えた引当金の計上等を行っております。資産査定 の厳格化に伴う予防的引当の増加により、さらなる資産の健全化を図っております。

金融再生法開示債権の状況

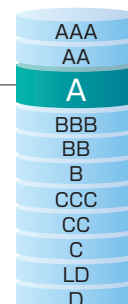
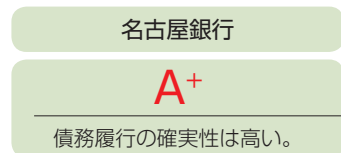


■ 格付けの状況

格付けとは、企業の発行する個別の債券について、約定通り元利金が支払われる確実性の程度を、一定の符号によって格付会社が情報として提供しているものです。企業の信用力評価的な要素が強く、広い意味で銀行そのものの信用度を表しております。

当行は、株式会社日本格付研究所（JCR）より長期発行体格付として「A+（シングルA+）」の格付けを取得しております。この格付けは投資適格銘柄であることを示しており、国内金融機関の中でも上位に位置付けられております。

■ 日本格付研究所（JCR）



連結財務諸表

(単位：百万円)

連結貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現 金 預 け 金	242,670	預 渡 性 預 金	3,142,939
コールローン及び買入手形	2,871	コールマネー及び売渡手形	56,763
有 価 証 券	969,731	債券貸借取引受入担保金	10,141
貸 出 金	2,241,953	借 借 用 金	18,488
外 国 為 替	2,845	外 国 為 替 債 金	26,526
リース債権及びリース投資資産	26,444	新 株 予 約 権 付 社 債	44
そ の 他 資 産	16,827	そ の 他 負 債	11,268
有 形 固 定 資 産	36,235	役 員 賞 与 引 当 金	19,826
建 物	9,072	退 職 給 付 に 係 る 負 債	1,100
土 地	23,242	偶 発 損 失 引 当 金	51
建 設 仮 勘 定	247	退 職 給 付 引 当 金	4,937
その他の有形固定資産	3,673	睡眠預金払戻損失引当金	23
無 形 固 定 資 産	2,022	偶 発 損 失 引 当 金	369
ソ フ ト ウ ェ ア	1,618	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	1,834
ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定	339	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	199
その他の無形固定資産	64	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	16,908
退 職 給 付 に 係 る 資 産	14,618	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	3,223
繰 延 税 金 資 産	811	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	10,230
支 払 承 諾 見 返	10,230	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	3,324,877
貸 倒 引 当 金	△12,951	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	25,090
資 産 の 部 合 計	3,554,311	繰 上 償 還 損 失 引 当 金	18,810
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	127,458
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	△3,592
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	167,766
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	52,614
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	0
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	4,400
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	415
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	57,430
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	76
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	4,161
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	229,434
		繰 上 償 還 損 失 引 当 金	3,554,311

連結損益計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

科 目	金 額
経 常 収 益	63,845
資 金 運 用 収 益	34,886
役 務 取 引 等 収 益	8,015
そ の 他 業 務 収 益	16,850
そ の 他 経 常 収 益	4,093
経 常 費 用	52,320
資 金 調 達 費 用	2,539
役 務 取 引 等 費 用	2,486
そ の 他 業 務 費 用	12,895
営 業 経 費	32,653
そ の 他 経 常 費 用	1,745
経 常 利 益	11,525
特 別 利 益	16
特 別 損 失	269
税金等調整前当期純利益	11,272
法人税、住民税及び事業税	1,668
法 人 税 等 調 整 額	2,316
法 人 税 等 合 計	3,984
当 期 純 利 益	7,287
非支配株主に帰属する当期純利益	316
親会社株主に帰属する当期純利益	6,971

連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当 期 首 残 高	25,090	18,645	121,757	△3,587	161,907	65,055	0	4,351	5,341	74,748	38	4,288	240,982
当 期 変 動 額													
剰 余 金 の 配 当			△1,379		△1,379								△1,379
親会社株主に帰属する当期純利益			6,971		6,971								6,971
自 己 株 式 の 取 得				△10	△10								△10
自 己 株 式 の 処 分		△0		4	3								3
非支配株主との取引に係る 親 会 社 の 持 分 変 動		164			164								164
土地再評価差額金の取崩			109		109								109
その他利益剰余金から その他資本剰余金への振替		0	△0		－								－
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△12,441	0	49	△4,926	△17,318	38	△127	△17,407
当期変動額合計	－	164	5,700	△5	5,859	△12,441	0	49	△4,926	△17,318	38	△127	△11,548
当 期 末 残 高	25,090	18,810	127,458	△3,592	167,766	52,614	0	4,400	415	57,430	76	4,161	229,434

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

(单位:百万円)

貸借対照表（平成28年3月31日現在）

科 目 (資 産 の 部)	金 額	科 目 (負 債 の 部)	金 額
現 金 預 け 金	242,619	預 譲 渡 性 預 金	3,149,706
		コ ー ル マ ネ ー 金	56,763
		債 権 借 取 引 受 入 担 保 金	10,141
コ ー ル ロ ー ン	2,871	借 借 外 国 約 為 替 債 金	18,488
		新 株 株 約 権 付 社 債 金	4,604
有 価 証 券	971,702	の 与 他 引 負 当 金	44
		役 員 賞 給 引 当 金	11,268
貸 出 金	2,240,959	退 職 預 金 払 戻 引 当 金	8,153
		偶 眠 発 損 失 引 当 金	1,045
		繰 上 延 税 金 負 債	39
外 国 為 替	2,845	再 評 価 に 係 る 繰 上 延 税 金 負 債	4,264
		支 払 承 諾	369
		負 債 の 部 合 計	1,834
そ の 他 資 産	6,191	(純 資 産 の 部)	16,725
		資 本 本 剰 余 金	3,223
有 形 固 定 資 産	35,543	資 本 利 益 剰 余 金	10,030
		利 益 剰 余 金	25,090
無 形 固 定 資 産	1,793	そ の 他 利 益 剰 余 金	18,645
		買 換 資 産 圧 縮 積 立 金	18,645
前 払 年 金 費 用	13,434	自 己 株 式	122,425
		株 主 資 本 合 計	8,029
支 払 承 諾 見 返	10,030	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	114,395
		繰 上 延 ヘ ッ シ ン 損 益	164
貸 倒 引 当 金	△11,639	土 地 再 評 価 差 額 金	57,720
		評 価 ・ 換 算 差 額 合 計	56,511
		新 株 予 約 権	△3,592
資 産 の 部 合 計	3,516,352	純 資 産 の 部 合 計	162,569
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	52,603
			0
			4,400
			57,004
			76
			219,649
			3,516,352

損益計算書 (平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

科 目	金 額
経 常 収 益	48,038
資 金 運 用 収 益	34,814
役 務 取 引 等 収 益	8,064
そ の 他 業 務 収 益	1,119
そ の 他 経 常 収 益	4,039
経 常 費 用	37,931
資 金 調 達 費 用	2,450
役 務 取 引 等 費 用	2,875
そ の 他 業 務 費 用	328
営 業 経 費	30,645
そ の 他 経 常 費 用	1,632
経 常 利 益	10,106
特 別 利 益	327
特 別 損 失	269
税 引 前 当 期 純 利 益	10,164
法人税、住民税及び事業税	1,293
法 人 税 等 調 整 額	2,175
法 人 税 等 合 計	3,469
当 期 純 利 益	6,694

株主資本等変動計算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

	株主資本										評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計			
		資本準備金	その他 資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計									
					買換資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金										
当 期 首 残 高	25,090	18,645	-	18,645	8,029	193	57,720	51,058	117,001	△3,587	157,151	65,037	0	4,351	69,388	38	226,577
当 期 変 動 額																	
剰 余 金 の 配 当								△1,379	△1,379		△1,379						△1,379
当 期 純 利 益								6,694	6,694		6,694						6,694
自 己 株 式 の 取 得																	△10
自 己 株 式 の 処 分			△0	△0						△10	△10						3
買換資産圧縮積立金の取崩						△28		28	-		-						-
土地再評価差額金の取崩								109	109		109						109
その他の利益剰余金から その他資本剰余金への振替			0	0				△0	△0		-						-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）												△12,433	0	49	△12,384	38	△12,346
当 期 変 動 額 合 計	-	-	-	-	-	△28	-	5,452	5,423	△5	5,418	△12,433	0	49	△12,384	38	△6,928
当 期 末 残 高	25,090	18,645	-	18,645	8,029	164	57,720	56,511	122,425	△3,592	162,569	52,603	0	4,400	57,004	76	219,644

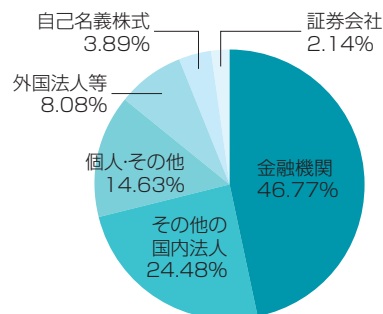
(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	500,000 千株
発行済株式の総数	205,054 千株
株主数	9,096 名
上場取引所	東京・名古屋
証券コード	8522

所有者別状況 (平成28年3月31日現在)



個人投資家さま向け説明会の開催

当行では、地元の個人投資家の皆さまを対象に、当行の業績や営業状況をより深く理解していただくことを目的に、個人投資家さま向け会社説明会を定期的に開催しております。

今後とも企業内容の理解促進を図るため、投資家の皆さまに対して積極的なIR活動を推進してまいります。



株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株 (平成28年10月1日より100株)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.meigin.com/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞および名古屋市中において発行する中日新聞に掲載して行います。

○配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただけます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金支払の都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

確定申告をされる株主さまは、大切に保管ください。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットフース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱い できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

絆をつくる、明日へつなく。



名古屋銀行

名古屋銀行 経営企画部 平成28年6月発行
〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目19番17号
TEL052-951-5911

名古屋銀行ホームページ

<http://www.meigin.com/>

